

ARIBからのお知らせ

講習会「ARIB技術資料 ファイルベースによる番組交換方式1.0版紹介」
開催のお知らせ

社団法人電波産業会（ARIB）スタジオ設備開発部会の放送素材ファイルフォーマット検討作業班が主体となって策定したARIB技術資料「ファイルベースによる番組交換方式1.0版」が、2010年4月に完成しました。最新の映像機器やシステムに適した番組交換の要望に対応するため、放送局及びメーカーの専門家が長年の経験、知識及びSMPTE規格を元に議論を重ねて策定したものです。

今般、社団法人映像情報メディア学会（ITE）との協賛で講習会を開催いたしますので、皆様には是非ご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

1 日時及び会場

日時：平成22年5月26日(水) 15:00～17:30

場所：社団法人電波産業会 第1、2、3会議室

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-1 日土地ビル11階

2 主催及び協賛

主催：社団法人電波産業会 協賛：社団法人映像情報メディア学会

3 対象及び定員

対象：一般 定員：定員(80名)になり次第締め切らせていただきます。

4 プログラム

本講習会では、「ファイルベースによる番組交換方式1.0版」の概要説明の後、各章の詳細、さらに現状の課題や今後のテーマについて、専門家の方々にご講演いただきます。

5 申込み方法及び参加費

申込み方法：下記、ホームページの「講演会等開催案内」からお申込みください。）

社団法人電波産業会 <<http://www.arib.or.jp/osirase/seminar/index.html>>

参加費：無料

6 問合せ先

担当／事務局：馬場 栄

TEL：03-5510-8597 FAX：03-3592-1103 E-mail：baba@arib.or.jp

第76回規格会議を開催（続報）

平成22年4月26日に開催しました、第76回規格会議において承認された標準規格、技術資料の策定又は改定の概要を以下に掲載します。

今回は、次に掲げる標準規格の策定1件、改定9件、技術資料の策定2件及び改定4件について審議され、すべて提案のとおり承認されました。

1 IMT-2000 DS-CDMA and TDD-CDMA System標準規格及び技術資料
(ARIB STD-T63 Ver.8.00及びARIB TR-T12 Ver.8.00)

3GPP TSG第46回（平成21年12月中華人民共和国・三亜開催）会合において、リリース99、リリース4、リリース5、リリース6、リリース7、リリース8及びリリース9の仕様について追加又は改定が承認され、特にリリース9の仕様については仕様凍結が採択されました。

このため、第75回規格会議(平成21年12月開催)において承認されたARIB STD-T63 / TR-T12 Ver.7.40に対して、上記のリリース99からリリース8までの仕様に加え、3GPP TSG第46回会合までに承認されたリリース9を含めた仕様の追加又は修正を反映するための改定を行い、それぞれARIB STD-T63 Ver.8.00及びTR-T12 Ver.8.00としました。

STD-T63 / TR-T12の主な改定内容は次のとおりです。

- (1) リリース9仕様のトランスポーズ開始
- (2) 日本における800MHz帯LTE技術基準の反映
- (3) 新しく追加された主な技術仕様・技術資料
 - Home Node B関連
 - Location Services (LCS) 関連
 - Self-optimizing network (SON) 関連
 - LTE-Advanced関連

2 IMT-2000 MC-CDMA System標準規格及び技術資料
(ARIB STD-T64 Ver.5.10及びARIB TR-T13 Ver.5.10)

2009年9月から12月に3GPP2が制定した仕様及び技術資料の導入並びに既存のARIB STD-T64とTR-T13の誤記訂正の対処のために、ARIB STD-T64 / TR-T13 Ver.5.10として改定しました。

STD-T64の主な改定内容は次のとおりです。

- (1) 新規規格の追加
 - ・ HRPD Revision.B無線インタフェース仕様
 - ・ HRPD Revision.B無線パフォーマンス試験仕様 (3件)
 - ・ HRPD Revision.B無線コンフォーマンス試験仕様
 - ・ バンドクラス仕様
 - ・ E-UTRAN ? cdma2000システム間インタワーク・コンフォーマンス試験仕様
- (2) 既存規格の誤記訂正

TR-T13の改定内容は、既存規格の誤記訂正です。

3 OFDMA Broadband Mobile Wireless Access System (WiMAX™ applied in Japan) 標準規格(ARIB STD-T94 Ver.2.0)

国際標準の改訂及び国内規格の改正に応じて、ARIB STD-T94 Ver. 2.0として改定しました。

主な改定内容は次のとおりです。

- (1) STD-T94がトランスポートしている国際標準の改訂に伴う改定
 - ・ WiMAX Forum標準の新リリースの発行
 - ・ STD-T94の構成の変更
- (2) 国内規格の改正に伴う主な改定点
 - ・ WiMAX小電力レピータの導入
- (3) 記載方法の変更及びEditorialな修正

今回の改定によりページ数が増大したため、印刷物による配布が困難になったので、今後は印刷物による配布は廃止して、Webからのダウンロードによる配布とします。

4 小電力データ通信システム/ワイヤレスLANシステム標準規格(RCR STD-33 5.4版)

主な改定内容は次のとおりです。

- (1) 参考2の漏洩同軸ケーブルに関する解説書について、等価等方輻射電力が基準より小さい場合にアンテナ利得で補う事が可能であることを明記しました。
- (2) 誤記訂正等

5 第二世代小電力データ通信システム/ワイヤレスLANシステム標準規格 (ARIB STD-T66 3.5版)

主な改定内容は次のとおりです。

- (1) 誤記訂正等

なお、第6項以降の策定又は改定の概要は、次号にて紹介する予定です。

第162回業務委員会を開催

第162回業務委員会を開催しましたので、その概要をお知らせします。

- 1 日時 平成22年5月12日(水) 午後2時から2時55分まで
- 2 場所 当会第2会議室
- 3 議事概要
 - (1) 免許不要局の拡大に向けた検討について説明がありました。
 - (2) 公共ブロードバンド移動通信システムの導入に伴う制度整備への対応について説明がありました。
 - (3) 標準規格等の策定状況について報告がありました。
 - (4) 高度無線通信研究委員会の活動状況について報告がありました。

総務省からのお知らせ

207.5MHz以上222MHz以下の周波数を使用する特定基地局の 開設計画に係る認定申請の受付

【平成22年4月28日の総務省報道資料から】

総務省は、携帯端末向けマルチメディア放送の実現のための207.5MHz以上222MHz以下の周波数を使用する特定基地局の開設計画の認定申請を、平成22年5月6日（木）から同年6月7日（月）までの間、受け付けます。

その結果、御意見の提出はありませんでしたので、基本計画書を原案どおりに確定するとともに、研究開発を委託するに当たり、次のとおり提案の公募を実施します。

1 概要

総務省は、207.5MHz以上222MHz以下の周波数を使用する特定基地局の開設計画に関する指針案その他の携帯端末向けマルチメディア放送の実現に向けた制度整備案について、平成22年2月4日から同年3月5日まで意見募集を行いました。当該意見募集の結果及び同年4月14日付け電波監理審議会の答申を踏まえ、同年4月23日に同指針等を制定しました。

今般、電波法（昭和25年法律第131号）第27条の13第3項の規定に基づき、本指針に基づく特定基地局の開設計画の認定申請期間等を定め、認定申請を受け付けることとします。

2 特定基地局の開設計画の認定申請期間

平成22年5月6日（木）8時30分から同年6月7日（月）17時15分までとします。
なお、郵送の場合は、期間内必着とします。

3 特定基地局の開設計画の認定申請の提出先

北海道、東北、関東、信越、北陸、東海、近畿、中国、四国若しくは九州総合通信局又は沖縄総合通信事務所のいずれかとします。

4 申請要領等

「207.5MHz以上222MHz以下の周波数を使用する特定基地局の開設計画の認定申請マニュアル」（別紙*）をご参照ください。

なお、*印の別紙及び詳細については、総務省の下記報道発表Webページをご参照ください。

http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/02ryutsu07_000032.html

編集後記

晴天に恵まれた今年のGWは、国内外へ行楽に出かけられた方も多いかと思いますが、私はほとんど巣ごもり状態でした。というのも、一年ほど前に我が家にささやかなホームシアター（約6畳間のAV専用ルーム）を構築して以来、休日は一日中そこで趣味の映画鑑賞をして過ごすことが多く、GW中もLD（レーザーディスク）やDVDソフト、WOWOWの録画など20本近くもの映画三昧でした。（BD（ブルーレイディスク）ソフトも結構所有しているのですが、財政難でBDハード未購入のため観れません。（涙）

ところで、洋画を字幕で楽しまれている方へ、ぜひ二度以上（二度目は字幕無）で観になることをお勧めします。人は字幕を追いながら映画を観ていると、6割もの情報を見落としているといわれています。映画はご存知のとおり緻密な計算の下、意図的な構図（このシーンではここに注目して欲しい）が数多く存在し、何度も観ていくと映像から色々なことが観えて（分かって）きて、その作品が持つ本来のすばらしさを余すことなく享受できること請合いです。

(S.K)